

ばい煙に係る特定施設使用届出書

年 月 日

鹿児島県知事 殿

住所
届出者
氏名

〔 法人にあつては、主たる事務所の所
在地及び名称並びに代表者の氏名 〕

鹿児島県公害防止条例第18条の規定により、ばい煙に係る特定施設の使用について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称及び業種		※整理番号	
工場又は事業場の所在地		※受理年月日	年 月 日
ばい煙に係る特定施設の種類の種類		※施設番号	
ばい煙に係る特定施設の構造	別紙1のとおり	※審査結果	
大気汚染関係特定施設の使用の方法	別紙2のとおり	※備考	
ばい煙等の処理の方法	別紙3のとおり		
連絡方法（電話番号等）			

- 備考
- 1 ばい煙に係る特定施設の種類の欄には、鹿児島県公害防止条例施行規則別表第1に掲げる項番号及び施設名を記載すること。
 - 2 別紙1から別紙3までは、それぞれ別記第1号様式の別紙1から別紙3までの様式を用いて作成すること。
 - 3 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。
 - 5 氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあつてはその代表者）が署名することができる。

別紙 1

ばい煙に係る特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号			
名 称 及 び 型 式			
設 置 年 月 日		年 月 日	年 月 日
着 手 予 定 年 月 日		年 月 日	年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日		年 月 日	年 月 日
規	伝 熱 面 積 (m ²)		
	バーナーの燃料の燃焼能力 (重油換算 l/h)		
	原料の処理能力 (t/h)		
	火格子面積又は羽口面断面積 (m ²)		
	変圧器の定格容量 (KVA)		
	触媒に附着する炭素の燃焼能力 (kg/h)		
	焼 却 能 力 (kg/h)		
模	乾 燥 施 設 の 容 量 (m ³)		
	電 流 容 量 (KA)		
	ポ ン プ の 動 力 (KW)		

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日の欄及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日の欄、着手予定年月日の欄及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 ばい煙発生施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本工業規格 A 4 の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いること。

ばい煙に係る特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番					
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	時～ 時間/回	時 回/日	時～ 時間/回	時 回/日
	季節変動				
原材料 (ばい煙の発生に影響のあるものに限る。)	種類				
	使用割合				
	原材料中の成分割合(%)	硫黄分 カドミウム分	鉛分 弗素分	硫黄分 カドミウム分	鉛分 弗素分
	1日の使用量				
燃料又は電力	種類				
	燃料中の成分割合(%)	灰分	硫黄分	灰分	硫黄分
	発熱量				
	通常の使用量(1/h)				
	混焼割合				
排出ガス量(Nm ³ /h)	最大	通常	最大	通常	
排出ガス温度(°C)					
ばい煙の濃度	ばいじん(g/Nm ³)	最大	通常	最大	通常
	硫黄酸化物(容量比ppm)	最大	通常	最大	通常
	カドミウム及びその化合物(mg/Nm ³)	最大	通常	最大	通常
	塩素(mg/Nm ³)	最大	通常	最大	通常
	塩化水素(mg/Nm ³)	最大	通常	最大	通常
	弗素, 弗化水素及び弗化珪素(mg/Nm ³)	最大	通常	最大	通常
	鉛及びその化合物(mg/Nm ³)	最大	通常	最大	通常
ばい煙量	硫黄酸化物(Nm ³ /h)	最大	通常	最大	通常
参考事項					

- 備考 1 原材料中の成分割合(%)の欄及び燃料中の成分割合(%)の欄の記載に当たっては、重量比%又は容量比%の別を明らかにすること。
- 2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 3 ばい煙の濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度とすること。
- 4 ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設については、参考事項の欄に1工程中の排出量の変動の状況を記載すること。

ばい煙の処理の方法

ばい煙処理施設の工場又は事業場における施設番号				
処理に係るばい煙発生施設の工場又は事業場における施設番号				
ばい煙処理施設の種類、名称及び型式				
設 置 年 月 日		年 月 日	年 月 日	
着 手 予 定 年 月 日		年 月 日	年 月 日	
使 用 開 始 予 定 年 月 日		年 月 日	年 月 日	
処 理 能 力	排 出 ガ ス 量 (Nm ³ /h)	最 大		
		通 常		
	排 出 ガ ス 温 度 (°C)	処 理 前		
		処 理 後		
	ば い 煙 の 濃 度	ば い じ ん (g/Nm ³)	処 理 前	
			処 理 後	
		硫 黄 酸 化 物 (容量比 p p m)	処 理 前	
			処 理 後	
		カドミウム及びその 化合物 (mg/Nm ³)	処 理 前	
			処 理 後	
		塩 素 (mg/Nm ³)	処 理 前	
			処 理 後	
	塩 化 水 素 (mg/Nm ³)	処 理 前		
		処 理 後		
	弗素、弗化水素及び弗化珪素 (mg/Nm ³)	処 理 前		
		処 理 後		
	鉛及びその化合物 (mg/Nm ³)	処 理 前		
		処 理 後		
	ば い 煙 量	硫 黄 酸 化 物 (Nm ³ /h)	最 大	処 理 前
			最 大	処 理 後
通 常			処 理 前	
通 常			処 理 後	
捕 集 効 率 (%)	ば い じ ん			
	硫 黄 酸 化 物			
	カドミウム及びその化合物			
	塩 素			
	塩 化 水 素			
	弗素、弗化水素及び弗化珪素			
使 用 状 況	1 日 の 使 用 時 間 及 び 月 使 用 日 数 等		時～ 時 時間/回 回/日 日/月	
	季 節 変 動		時～ 時 時間/回 回/日 日/月	
排 出 口 の 実 高 さ H _o (m)				
補正された排出口の実高さ H _e (m)				
排 出 速 度 (m/S)				

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日の欄及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日の欄及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 3 補正された排出口の高さH_eは、鹿児島県公害防止条例施行規則別表第7の1の(1)の備考の算式により算定すること。
- 4 ばい煙処理施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。